

多摩府中保健所では令和 5 年度から 2 年間の計画で、
「高齢者福祉施設の感染症対応力の向上に向けた地域づくり」事業を推進してきました！

「高齢者福祉施設の感染症対応力の向上に向けた地域づくり」について

1 背景

令和 2 年度以降新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、保健所には施設からの集団発生への対応について相談が相次ぎました。

相談や調査を通じて、特別養護老人ホーム等の入所型の高齢者福祉施設では、感染症が拡大することで利用者の行動が制限され、QOL の低下につながっていることを把握し、高齢者福祉施設の感染症対応力の底上げの重要性を認識しました。また、高齢者福祉施設等で集団発生があった際には、必要に応じ地域の感染管理看護師（infection control nurse、以下「ICN」という。）に同行を依頼し、感染症の専門知識に基づいた助言を得る等、ICN と施設を繋ぐ役割を果たし、地域連携の必要性を認識しました。

令和 4 年度、保健所では管内 6 市の高齢福祉主管課と意見交換を行い、高齢者福祉施設の感染症対応力の底上げの必要性を共有するとともに、地域課題を明らかにし、「高齢者福祉施設の感染症対応力の向上に向けた地域づくり」の事業実施計画を策定しました。高齢者福祉施設と管内 6 市の高齢福祉主管課や地域の ICN 等、関係機関との連携を推進し、高齢者福祉施設の感染症対応力の向上に向けた地域づくりを目指し、本事業を実施することとしました。

2 積極的疫学調査について

令和 4 年度における保健師による積極的疫学調査※施設数の総計は 609 件でしたが、そのうち 305 件が高齢者福祉施設で、全体の約半数を占めていました。施設の内訳では、有料老人ホームや特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の入所型施設での発生が多くあり、全体の 76.8% を占めていました。

※感染症法第 15 条に基づき、保健所保は感染症の発生状況、動向及び原因を明らかにし、感染症の発生を予防し、又はそのまん延を防止するために調査を行う。

施設種別	件数
高齢福祉	305
保育園・幼稚園等	147
医療機関	75
障害福祉	58
学校等	14
その他	10
合計	609

施設種別	件数	割合 (%)
有料老人ホーム	111	37.4
特別養護老人ホーム	82	27.6
介護老人保健施設	35	11.8
グループホーム	23	7.7
通所介護等（デイサービス等）	19	6.4
サービス付き高齢者向け住宅	11	3.7
その他の高齢福祉施設	16	5.4
合計	297	100.0

76.8%

訪問調査時の助言内容	件数
濃厚接触者の特定	60
防護具の使用方法	49
手洗い、手指衛生	48
ゾーニング	46
環境消毒、環境整備	45
療養期間、健康観察期間	32
事業継続方法	8
検査の受け方	6
マニュアル確認、研修参加	2
医療機関紹介、受診調整	2
その他	4

令和 4 年度における、保健師による特別養護老人ホームへの訪問指導は 82 件ありました。訪問記録からどのような助言を行ったかを整理し集計した結果、一番多かった助言内容は濃厚接触者の特定に関するものでした。コロナ対応において、施設のソフト面やハード面の特徴を踏まえ、濃厚接触の範囲を特定することが必要であった点が背景にあったと推察されました。続いて、防護具の使用方法、手洗い・手指衛生に関すること、ゾーニングに関すること、環境消毒・環境整備等、基本的な感染対策に関することが多くありました。

新型コロナ集団発生_特別養護老人ホーム_延 82 件の記録より

3 事業内容

（1）研修会及び意見交換会の開催

- 第 1 回 令和 5 年 6 月 22 日開催 59 名参加
テーマ：「行動が変わる！」迷わない・疲れないシンプルな感染対策へ
- 第 2 回 令和 5 年 10 月 11 日開催 38 名参加
テーマ：集団発生事例を通して施設管理を考える
～多職種や他機関との連携について学ぶ～
- 第 3 回 令和 5 年 12 月 18 日開催 16 名参加
テーマ：感染対策マニュアル活用
～せっかく作ったのに眠っていませんか？～



（2）シンポジウムの開催

- 令和 6 年 2 月 26 日開催 50 名参加
テーマ：コロナ禍を乗り越えて・・・変わったこと、変わらないこと
前半は、特別養護老人ホーム 4 施設に「自施設で頑張ったこと」について発表していただきました。
後半は意見交換を行い、「コロナ禍を乗り越えて・・・変わったこと、変わらないこと」についてシンポジストが発表し、共通する点についてフロアと意見交換しました。
共通した良い変化として「感染対策対応力が向上したこと」や「感染症発生時の初動体制を整えている」、「横のつながりを活用し他施設に相談したり、他施設でうまくいった対策や工夫を取り入れたりしている」ことがわかりました。一方、「平時からの感染対策を継続する難しさ」について課題として出され、この点については、ICN より「感染対策を標準化して継続させていくこと」についてのアドバイスを得ることができました。



（3）感染対策チェックリストの作成及びデジタル化

高齢者福祉施設の施設長向け及び職員向けのチェックリストを令和 5 年度に作成し特別養護老人ホームに配布しました。使用後のアンケート結果からは、『自施設の強み弱みを把握する機会となった』『継続使用することで職員の感染対策の標準化につなげたい』という意見が多く、自施設の感染対策の評価、職員の感染対策の習得に向けてのツールとして有効活用されていることがわかりました。令和 6 年度、チェックリストは、デジタル化して各施設に周知し、多摩府中保健所のホームページで公開しています。

（4）事例集の作成

施設のご協力を得て本事例集を作成しました。



東京都保健所は、地域の保健医療サービスの向上を目指した取組を推進するための具体的な行動計画として、毎年度「課題別地域保健医療推進プラン」を策定・実施しています。
東京都北多摩南部地域保健医療推進プラン

資料集



- ◆施設内において感染症の集団発生が疑われるとき
(多摩府中保健所)
- ◆管内の発生動向について
(多摩府中保健所)
- ◆「高齢者施設・障害者施設向け 感染症対策ガイドブック」について
(東京都保健医療局)
- ◆東京都感染症情報センター
(東京都健康安全研究センター)
- ◆東京都感染症週報
(東京都健康安全研究センター)
- ◆感染症情報
(厚生労働省)
- ◆介護現場における感染対策の手引き (施設系 通所系 訪問系サービスなど)
(厚生労働省)

令和 6 年 10 月 31 日現在

おわりに

今回、作成検討委員会の委員の皆様をはじめ、感染管理認定看護師の方々のご協力を得て本アイデア帳を作成することができました。タイトル名の「隣の施設の感染対策アイデア帳」も作成検討委員会の中での意見交換から生まれたものです。また、内容につきましては、身近な対策として各施設において実際に役立てられるよう、委員の皆様にも何度もご検討をいただきました。

改めて、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

【作成検討委員会】

所属	氏名
社会福祉法人親の家 親の家	栗原 有
社会福祉法人徳心会 さくらえん	北野 香江
社会福祉法人桃山福祉会 ピオーネ三鷹	森岡 愛
社会福祉法人東京弘済園 弘済園	石川 まゆ美
社会福祉法人多摩同胞会 信愛泉苑	野尻 俊介
社会福祉法人高生会 明日に架ける橋	齋藤 久美
社会福祉法人東京かたばみ会 調布市ちょうふの里	西村 健
社会福祉法人聖ヨハネ会 聖ヨハネホーム	西河 政宏
社会福祉法人東京聖労院 つきみの園	榎本 光宏
社会福祉法人狛江福祉会 こまえ苑	石橋 啓一
社会福祉法人正吉福祉会 こまえ正吉苑	耒代 慎平
社会福祉法人正吉福祉会 こまえ正吉苑二番館	岩坂 大輔
東京慈恵会医科大学附属第三病院	長谷部 恵子
調布東山病院	木村 亮子

(敬称略)

